



本施工説明書は二部構成となっています。
第一部ではトイレを施工する際の安全遵守事項および手順説明を、第二部では図解の施工方法を記載しています。
各部を参照して本説明書をお使いください。

安全上のご注意

シャワートイレを安全に取り付け、使用時の事故を回避するための注意事項を記載しています。施工前に、この項目をよくお読みいただき、事故のないように正しく取り付けてください。

危険

避けないと死亡や重傷を負う危険な状態が差し迫ることを示します。

警告

取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。

注意

取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

危険



電源プラグの誤った接続は感電の原因になります。



電気設備工事は資格を有する電気技術者に依頼する。
※ ショート・感電の恐れがあります。

警告



施工説明書に従い、正しく施工する。
※ 感電・火災・ケガの原因になります。
※ 漏水し、室内浸水の原因になります。



認可を受けたサービス技術者以外の者は本商品の分解、修理もしくは改造は絶対に行わない。
※ 感電・火災、また誤作動によりケガの原因になります。



ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。
※ 感電の恐れがあります。



電源プラグの抜き差しはプラグ本体を持って行う。
※ コード部を持って電源プラグの抜き差しを行うと、プラグやコードが破損し、感電や火災の恐れがあります。



本体やリモコン、電源プラグに水や洗剤をかけない。
※ 感電・火災の原因になります。



AC100V 以外では使用しない。
また電源プラグを不適切に設置されたレセプタクルにつなげるいかなる方法も取ってはならない。
※ 定格電圧を超える使用は感電・火災の原因になります。



電源プラグは確実に差し込む。
※ コード破損による感電・火災の恐れがあります。



電源コードにキズを付けたり、無理に曲げたり、加工したり、ねじったり、束ねたり、狭み込んだり、重いものを乗せたりしない。
※ 電源コードが破損し、感電・火災の恐れがあります。



バスルームなどの湿気の多い場所には設置しない。
※ 感電・火災の原因になります。



水道水以外に接続しない。
※ 機械内部の腐食により感電・火災および皮膚の炎症の原因になります。



分解や改造は絶対に行わない。
※ 感電・火災・ケガの原因になります。



ガタついているコンセントやアースターミナル付接地極付以外のコンセントは使用しない。
※ 感電・火災の原因になります。



アース線はコンセントのアースターミナルへ確実に接続する。
※ 接続しなかったり、不適切な接続では、感電・火災の原因になります。
※ アースの接続は、電気工事店にご相談ください。

注意



便器は陶器製で割れ物です。便器を扱う際には以下に注意する。
・施工前に便器は破損がなく状態良好であると確認する。
・施工後に便器が破損がないことを確認する。
※ ケガ・漏水、または / もしくは浸水の原因になります。



本商品を接続する前に、必ず配管中の異物・サビなどを洗い流す。
※ 商品内部を傷めて漏水し、室内浸水の原因になります。



ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉め、便器洗浄操作を行う。
ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようにしっかり閉める。
ストレーナーを取り付ける際は、ゴミがOリングに付着していないことを確認する。
※ Oリングにゴミが付着していると、漏水し室内浸水の原因になります。



止水栓の調節と施工後の漏水点検を必ず行う。
※ 漏水し、室内浸水の原因になります。



お客さまにお渡りするまでに凍結が予想される場合は本商品から水を抜いておく。
※ 凍結破損により火災・漏水、または / もしくは室内浸水の原因になります。



新築・改修工事後や、水道断水の復旧後は、必ず配管内の空気を抜く。

※ 配管内に空気が混入した状態で給水器具を使用すると、器具・配管の破損や故障の原因となり、ケガをしたり水漏れによって建物、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

電源の確認

配線工事およびコンセントの設置は、下記に準じた工事を行ってください。配線工事は電気工事店にご依頼ください。

- **コンセントは AC100V、定格消費電力に適したアースターミナル付接地極付コンセントを使用してください。**
既にアースターミナルのない接地極付コンセントや接地極付ではないコンセントが施設されている場合は、アースターミナル付接地極付コンセントに変更してください。また、他の電化製品と併用する場合は、数に応じたコンセントを設置してください。
- **定格消費電力に適した配線を行ってください。**
- **必ずアースターミナルは、D種接地工事に準じた工事を行ってください。**
アースターミナルには、確実にシャワートイレのアース線を接続してください。
- **コンセントはコード類の届く範囲で、床面より高く水のかからない位置に設置してください。電源コードおよびアース線の長さは 1000mm です。**
※ 施工が完了するまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。故障する恐れがあります。

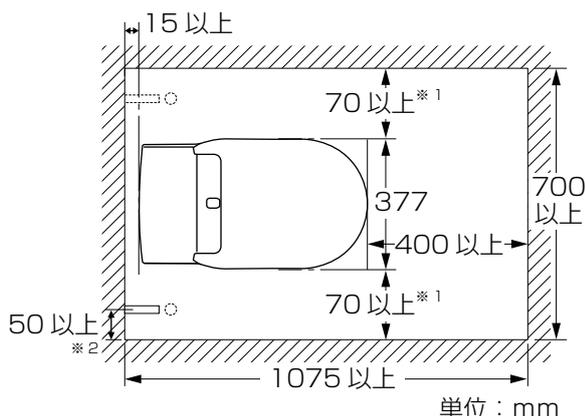
使用する水は？

- **給水は必ず水道水に接続してください。**
中水道や工業用水、井戸水などを使用すると電気部品や機械部品の耐久性が低下して、事故の原因となります。
- **給水圧力は流動時 0.05MPa 以上、静水圧 0.15MPa 以上が必要です。**
上記の水圧未満の場合は、お求めの取扱店にご相談ください。
- **給水圧力が 0.75MPa を超える場合には、減圧弁を使用して減圧してから設置、ご使用ください。**

必要なスペースは？

必要なトイレスペースは下図のとおりです。

- ※ 1 商品に向かって右側・左側ともに 70mm 以上の空間を確保してください。70mm 未満ですと動作の妨げになる場合があります。部屋暖房付の場合、温風吹出し口から 150mm 以上の空間を確保してください。
- ※ 2 止水栓は壁から 50mm のスペースを空けて取り付けてください。



給水配管はしっかりと固定して！

急激な水圧によりフレキホースに衝撃が加わり振動が発生する可能性があります。

給水配管はグラツキのないように、しっかりと固定してください。

※ 振動、漏水する恐れがあります。

技術データ

定格電圧および周波数

AC100V 50/60Hz

定格消費電力

850W (周囲温度 20℃、水温 15℃)

最大消費電力

1300W (周囲温度 20℃、水温 15℃)

電源コード

有効長さ 1m (漏電保護機能、アースコード付き)

給水ホース長さ

380mm

防水グレード

IPX3

許認可

JWWA、PSE

使用水道圧範囲

0.05MPa (13L/分 流動時)、
0.15MPa ~ 0.75MPa (静水圧)

給水接続サイズ

R 1/2

使用温度範囲

0℃ ~ 40℃

便器洗浄水量

大洗浄 : 3.8L 小洗浄 : 3.3L (床排水)
大洗浄 : 4.8L 小洗浄 : 3.3L (壁排水)

A 付属品

- a シャワートイレ・フレキホース
- b 止水栓・クリップ
- c リモコン
- d ねじ・アンカー・単 3 形乾電池 (リモコン用)
- e 盗難防止ナット・ねじ・ワッシャー (リモコン用)
- f 排水ソケット (床排水 / 壁排水)
- g 固定部材
- h ねじ・ワッシャー・アンカー・ねじキャップ付きねじ
- i 施工型紙
- j 施工サポート台
- k 説明書セット
- l 壁養生部材
- m 粘着材

※ 再施工する場合は手配し直してください。
(品番 : 36-1407)

OPTION 排水ソケット
(床排水芯 250 ~ 270mm)

OPTION 排水ソケット用耐火カバー

B 必要な工具

- a スパナ (19 mm)
- b プラスドライバー (No.2)
- c マイナスドライバー (5mm)
- d 精密プラスドライバー (No.0)
- e ノコギリ
- f 水平器
- g ヤスリ
- h シールテープ
- i 定規
- j ペン
- k ハンマー
- l カッター
- m グリス
- n 色付きテープ
- o コーキング剤
- p モンキーレンチ
- q 精密マイナスドライバー (2.5mm)
- r 塩ビ管用接着剤

C-1 止水栓の取付け

● 床排水の場合 (▲ 壁給水の場合 / □ 床給水の場合)

◆ 壁排水の場合 (▲ 壁給水の場合 / □ 床給水の場合)

- 1 止水栓にシールテープを巻き付けます。フレキホース接続口の向き*を調節して止水栓を取り付けます。閉開ハンドルを回して止水栓が閉じていることを確認します。

※▲ 壁給水の場合：水平に対して 50°

※□ 床給水の場合：壁に対して 60°

C-2 排水ソケットの取付け

● 床排水の場合

- 1 排水口の塩ビ配管を床と水平に切断します。
 - ※ VP100・VU100・VU75 の場合：床から 45±5mm の位置で切断します。
 - ※ VP75 の場合：床の表面に沿って切断します。
- 2 排水塩ビ管と排水ソケットの密着部をきれいにし、両方に塩ビ管用接着剤を塗って接着します。
 - ※ 排水塩ビ管と排水ソケットの接着は、確実に行ってください。接着が不十分ですと漏水、臭気発生の原因になります。
 - すき間、ガタがある場合は、塩ビ管接着剤とコーキング剤を併用してください。
 - ※ コーキング剤は塩ビ管に塗布します。
 - 現場の配管によって塗布位置が異なります。(図参照)
 - ※ すき間が大きいときは塩ビ管接着剤を多めに使用してください。
- 3 はまらない場合は、図のように排水塩ビ管の取出し高さを VU75 の場合は 25 mm、VP/VU100 の場合

は 15 mmに変更してください。

- ※ VP75 の場合は、排水塩ビ管の取出し高さの調整はできません。
- 排水ソケットのオリフィス部は切断しないでください。
- ※ オリフィス部を切断すると、便器が洗浄できません。

- 4 排水ソケットを固定します。
 - ※ 床がタイルまたはコンクリートの場合は下穴を開けアンカーを使用してください。

◆ 壁排水の場合

- 1 高さ調節ナットを緩め、排水ソケット上面が水平になるよう排水管に接続します。
- 2 排水ソケットの中心と排水管の中心が直線上になるように台座の方向を調節して、排水ソケットを固定し、高さ調節ナットを締め付けます。
- 便器を取り付けるまで、異物が混入しないように給水管にはプラグ (LF-7T を推奨)、排水管にはビニール袋などでカバーをしてください。

C-3 固定部材の位置決め

● 床排水の場合

- 1 施工型紙を排水ソケットの台座に合わせて置き、色付きテープで固定します。固定部材のねじ位置に印を付けます。
- 2 固定部材を仮置きします。
- 3 施工型紙を点線から切り離し、固定部材を固定します。
 - ※ 床がタイルまたはコンクリートの場合は下穴を開けアンカーを使用してください。

◆ ご注意

- すき間、ガタつきがある場合はコーキング剤を使用してシール接着してください。

- 4 床面・便器粘着材設置個所に切粉等のゴミや水分の付着がないように、きれいに取り除きます。

◆ ご注意

- ゴミや水分が残っていると便器の固定不良の原因になります。

- 5 粘着材を包装紙から取り出します。

◆ ご注意

- 気温が低い場合、粘着材が固くなることがあります。温めて柔らかくしてからご使用ください。
- 粘着材は直接お湯に入れずに、ビニール袋等に入れてから温めてください。

- 6 付属品の施工サポート台を取り出します。

- 7 便器の先端を持ち上げ、施工サポート台を便器下に差し込みます。

◆ ご注意

- フレキホースがつぶれてしまう可能性があるため、便器を完全に倒さないでください。

- 8 粘着材を便器の先端の裏側に取り付けます。

- 9 便器を施工サポート台に乗せます。

◆ 壁排水の場合

- 1 施工型紙の切り取り線を切り離します。
- 2 施工型紙を排水ソケットの台座に合わせて置き、色つきテープで固定します。固定部材のねじ位置に印を付けます。
- 3 固定部材を仮置きします。
- 4 施工型紙を点線から切り離し、固定部材を固定します。
※ 床がタイルまたはコンクリートの場合は下穴を開けアンカーを使用してください。

ご注意

- すき間、ガタつきがある場合はコーキング剤を使用してシール接着してください。

C-4 便器の設置

● 床排水の場合 / ◆ 壁排水の場合

- 1 壁養生部材を立てかけます。
- 2 便器を施工サポート台ごと排水ソケットの手前に移動させます。
ご注意
 - 便器の台座を排水ソケットの上に乗せないでください。ソケットが破損したり、パッキンを傷めて漏水の恐れがあります。
- 3 便器の側面下のねじ穴に対して垂直に色付きテープを貼ります。

- 4 施工サポート台のすき間に手を掛けて便器を持ち上げます。床の型紙の▲マークと便器のテープ位置を合わせます。排水ソケットに便器の排水口を合わせます。施工サポート台を抜き取ります。

- 5 便器をおろします。床の型紙の▲マークと便器のテープ位置が合っているか確認します。便器が正面を向くように位置を調節し、便器と床との隙間がなくなるまで便器前側を押し下げます。便器を軽くゆすり、便器先端が固定されていることを確認します。
※ 位置合わせがずれている場合は、便器前方を持ち上げて、位置合わせを行い、そのまま便器を押し下げて取り付け直します。

- 6 便器側面にねじを差し込み、固定部材と便器を固定して、ねじキャップを取り付けます。壁養生部材を取り外します。
※ 便器の中心がずれないように、木ねじは左右交互に少しずつ絞め付けてください。

ご注意

- 便器排水口は排水ゴムジョイントの中心にくるように、便器の前後左右がずれないようにしてください。汚物、トイレトペーパーなどのつまりの原因になります。

- 7 便器の先端を下へ押し込みます。

C-5 フレキホースの接続

- 1 保護キャップを外し、止水栓にフレキホースを差し込みます。
- 2 クリップで固定します。クリップをまわしてフレキホースを引っ張り、接続されているか確認します。

ご注意

- クリップは折り曲げて固定してください。
- クリップが適切に固定されていない場合、取り外して取り付け直してください。クリップをあけるには、工具を差し込みロックを解除してください。

- 3 止水栓の開閉ハンドルを全開まで回したあとに90°戻します。

ご注意

- 固着防止のため、必ず90°戻してください。

JP

C-6 電源の接続

- 1 コンセントにアース線を取り付けます。
- 2 電源プラグをコンセントに差し込みます。
- 3 電源プラグのリセットボタンを押して、電源表示が一瞬点灯することを確認します。

C-7 リモコンの取付け

- 1 リモコンをホルダーから取り外し、電池を入れます。

ご注意

- リモコンの画面上に縦の線が出てくることがありますが、これは故障ではありません。縦の線は電池を入れた際に消えます。

- 2 リモコンの取付位置を決めます。

ご注意

- リモコンの取付位置上部にスペースをあけます。

- 3 リモコンの設定 (⚙️) ボタンを押してリモコンを登録します。

- 4 リモコンホルダーを壁に取り付けます。

- A 薄さが5mm以下の石膏ボードおよびベニヤ板に取り付ける場合

- B コンクリート壁へ取り付ける場合

- 5 盗難防止ナットをリモコンの溝へ挿入します。

- 6 ホルダーにリモコンを取り付けます。

- 7 盗難防止ワッシャーとねじでリモコンをホルダーへ固定します。

D-1 漏水チェック

- 1 リモコンの便器洗浄ボタンを押して、漏水チェックを行います。

D-2 試運転

- 1 紙や布きれ等で着座センサーを覆って便座を下げ、シャワー（おしり洗浄、ビデ洗浄）と温風が出るか確認します。
- 2 洗剤タンクに水を補充します。
 - ① 電源プラグをコンセントから抜きます。
 - ② トップカバーを外します。
 - ③ 手動レバーを押し上げて右にスライドします。
 - ④ 洗剤タンクを取り出して補給キャップを取り外します。
 - ⑤ 洗剤タンクの「150」の位置まで水を入れます。

ご注意

 - ・「FULL」の位置以上に水が入った状態で洗剤タンクを本体に取り付けしないでください。
 - ⑥ 洗剤タンクを本体に戻します。
 - ⑦ 手動レバーを左にスライドし押し下げます。
- 3 リモコンの[設定]を2回押してから[泡]を2秒以上押し、約40秒後に便器に水が出たら便器を洗浄します。この操作を複数回繰り返します。
- 4 洗剤タンクを取り出し、水量が減っていることを確認したら洗剤タンクの水を空にします。
- 5 補給キャップを取り付けて洗剤タンクを本体に戻します。手動レバーを左にスライドし押し下げます。
- 6 リモコンの[設定]を2回押してから[泡]を2秒以上押し、本体内部に残っている水を出します。

D-3 片づけ

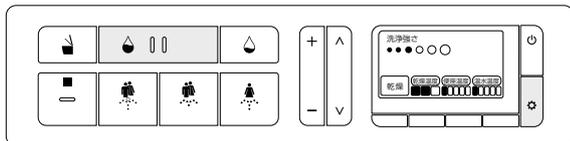
- 1 便器側面のシール、床のシールおよび型紙を取り除きます。

以下の場合でも、下記手順で大洗浄 6L（小洗浄 5L）仕様としてお使いいただけます。

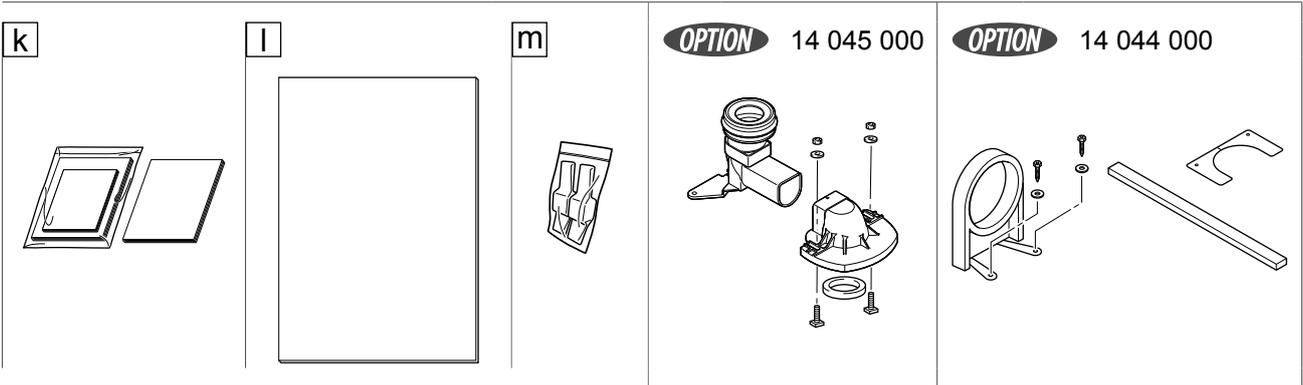
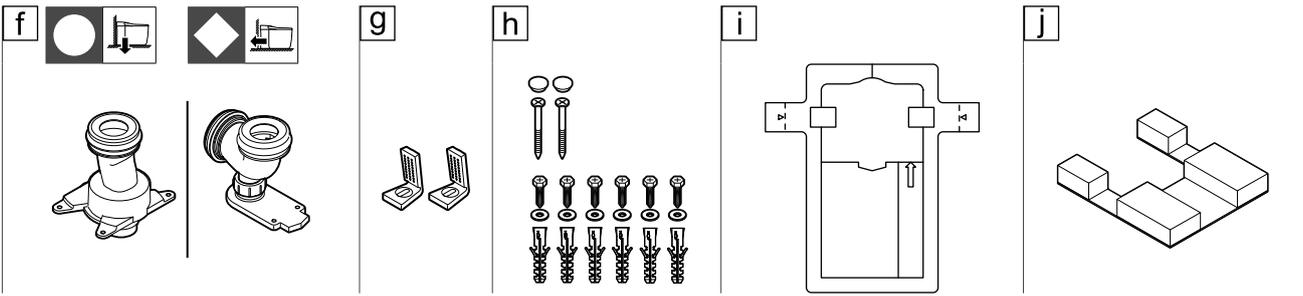
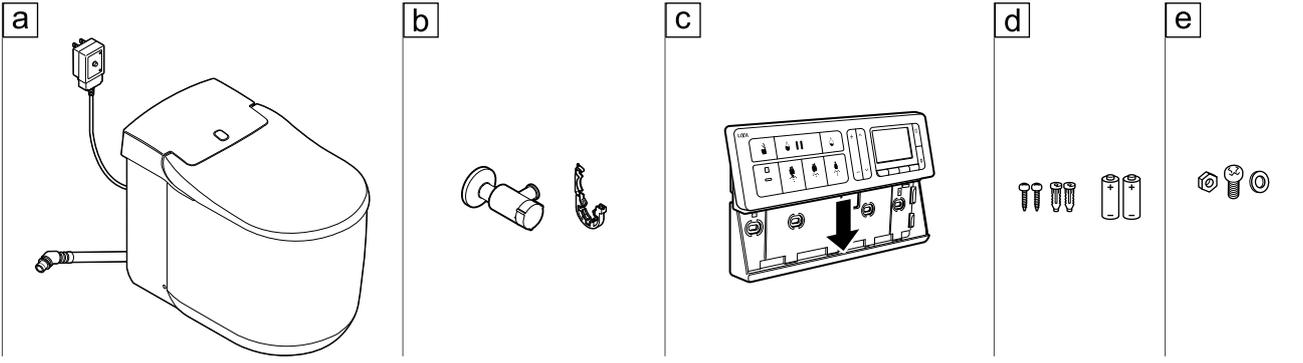
※ 洗浄水量を戻す場合はサービスマンによる有償作業が必要です。

● 自治体によって洗浄水量の規制がある場合

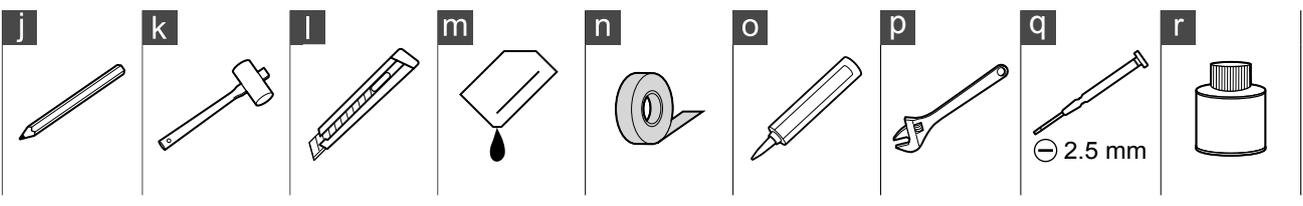
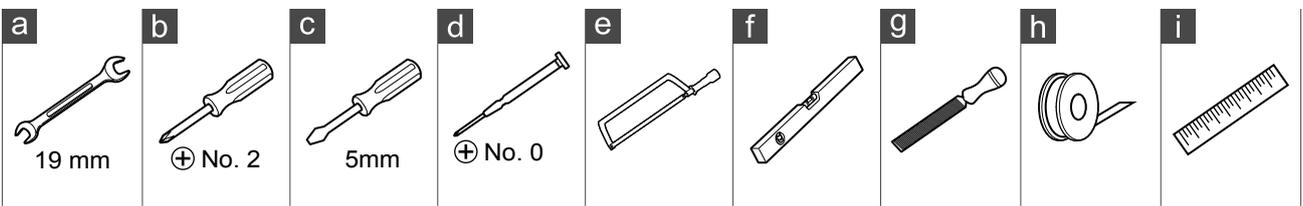
- ① 流す（大）と設定（次へ）を同じタイミングで2秒以上押し。
- ② 便器鉢内に長さ760mmのトイレットペーパーを丸めたものを7個入れ、これが1回の洗浄で排出できることを確認する。



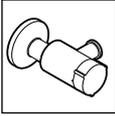
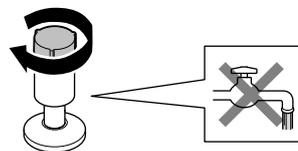
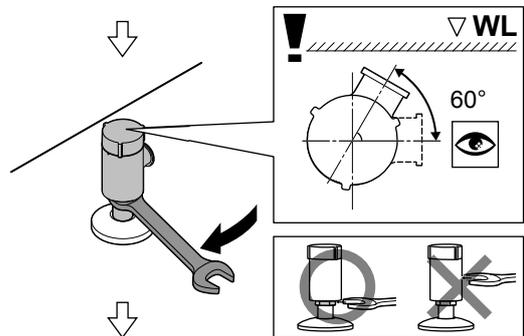
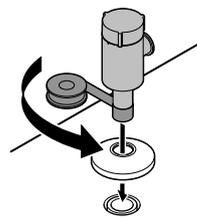
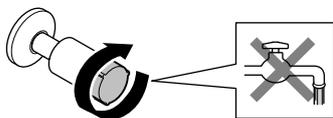
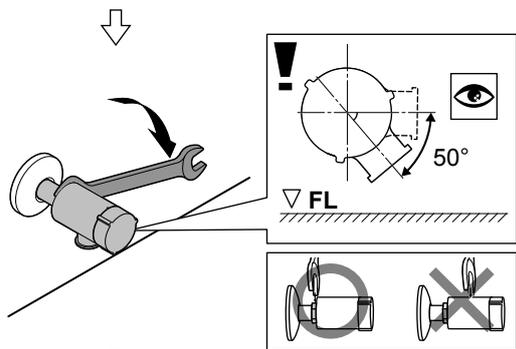
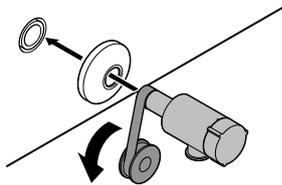
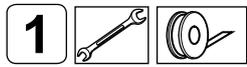
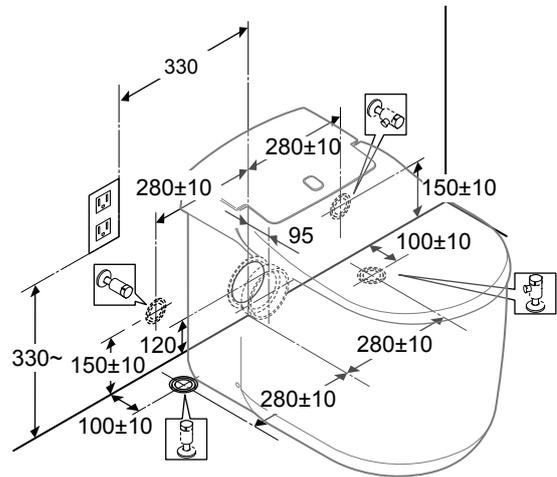
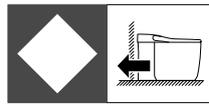
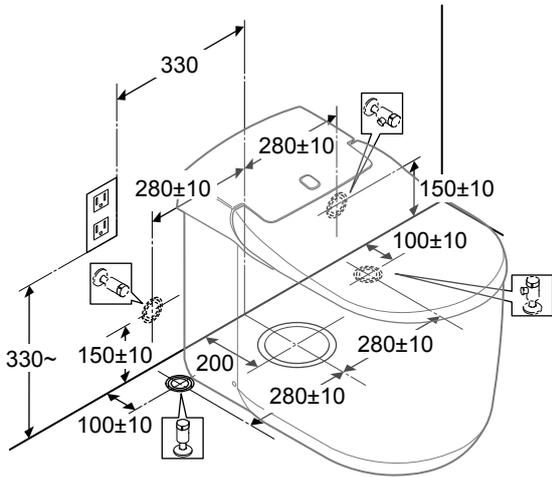
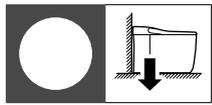
A



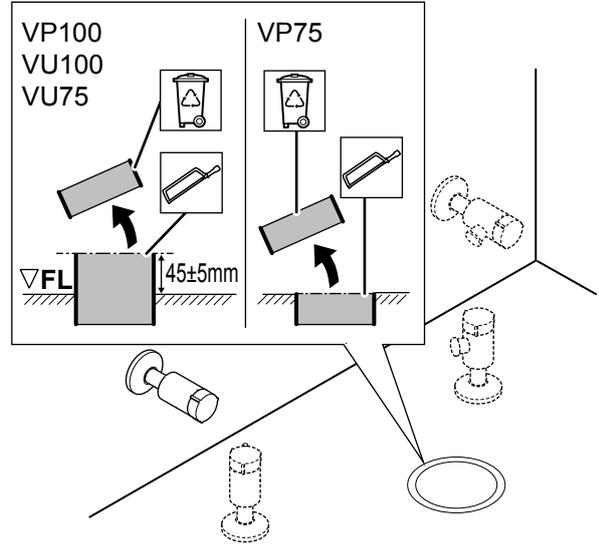
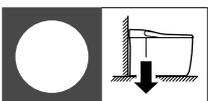
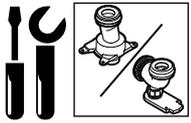
B



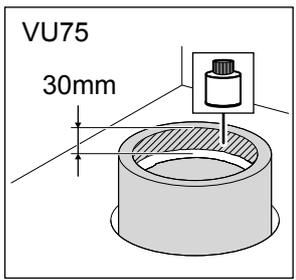
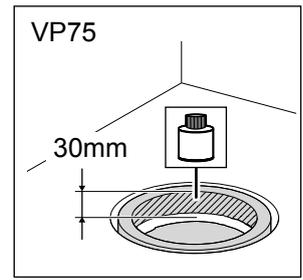
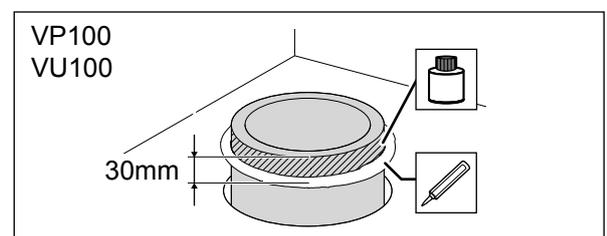
C-1

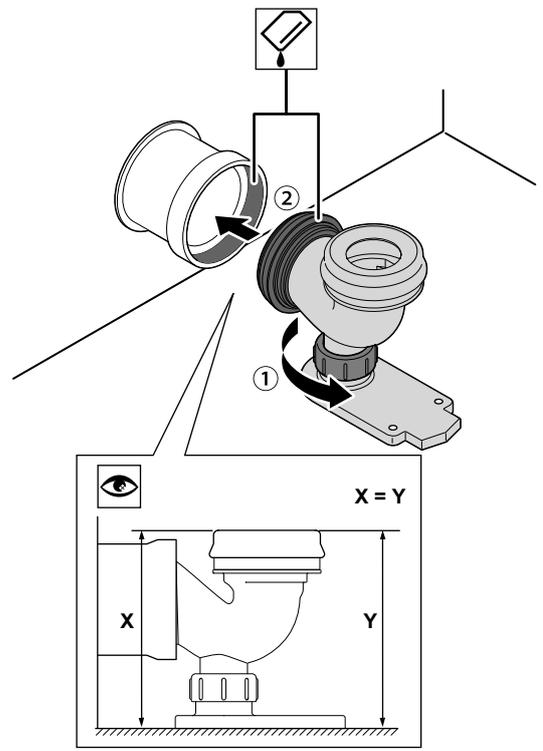
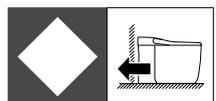
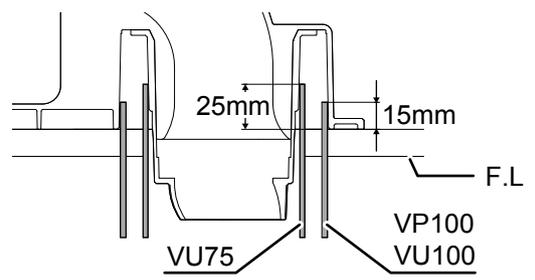
C-2

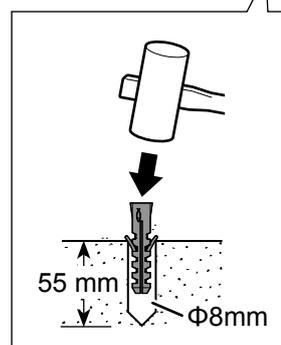
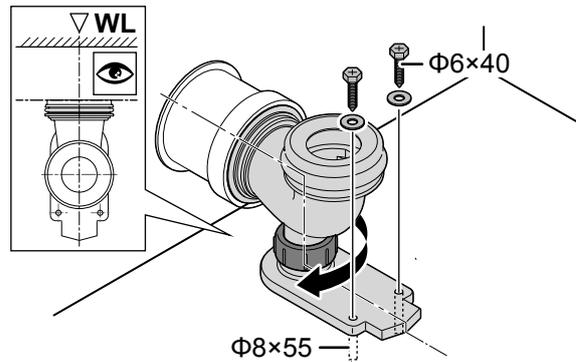
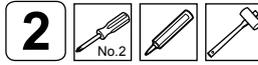
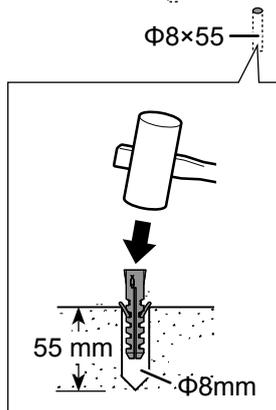
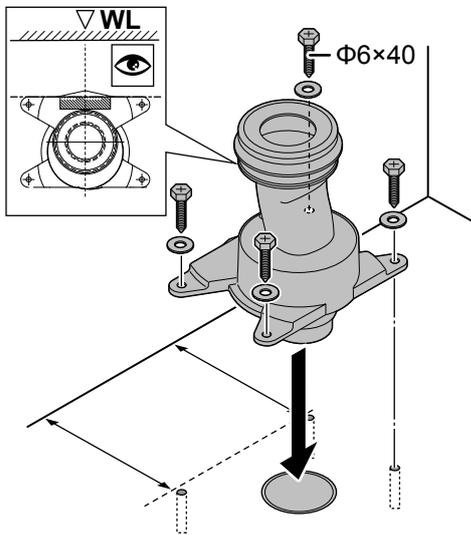
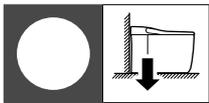


2

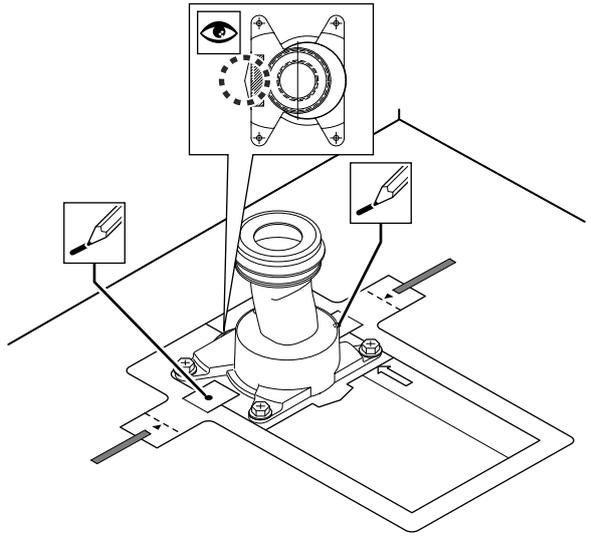
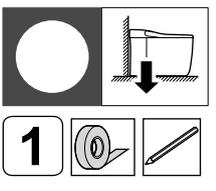
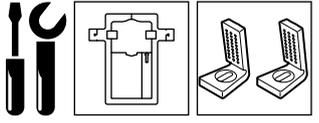


3

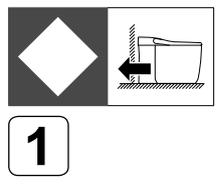
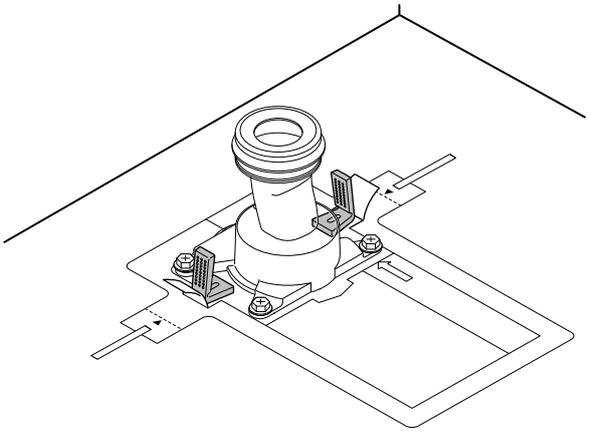




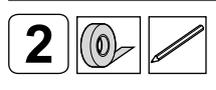
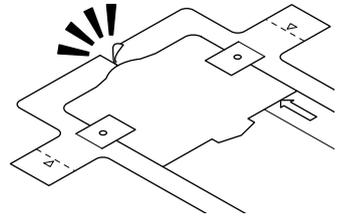
C-3



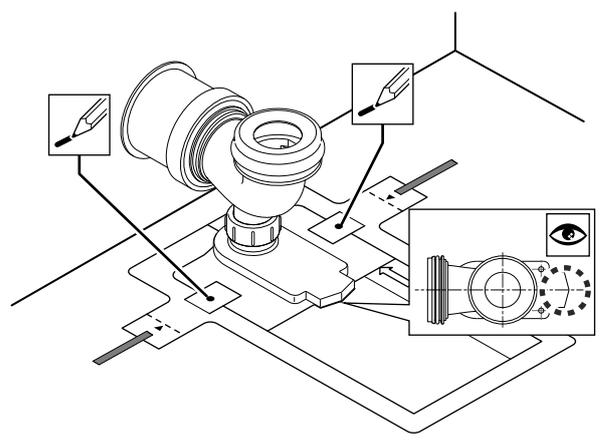
2



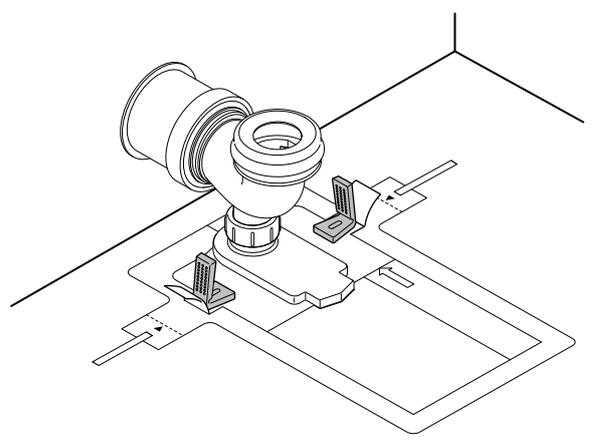
1

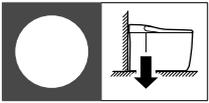


2

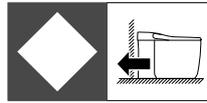
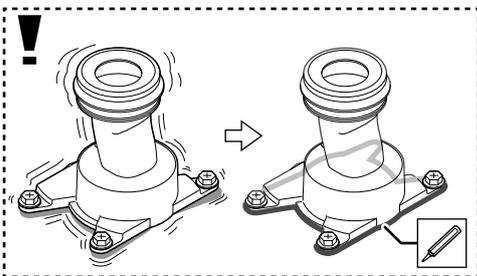
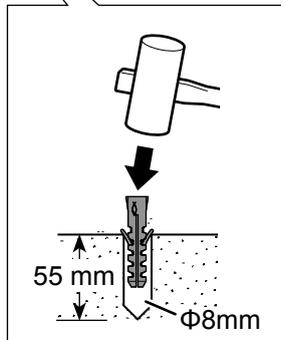
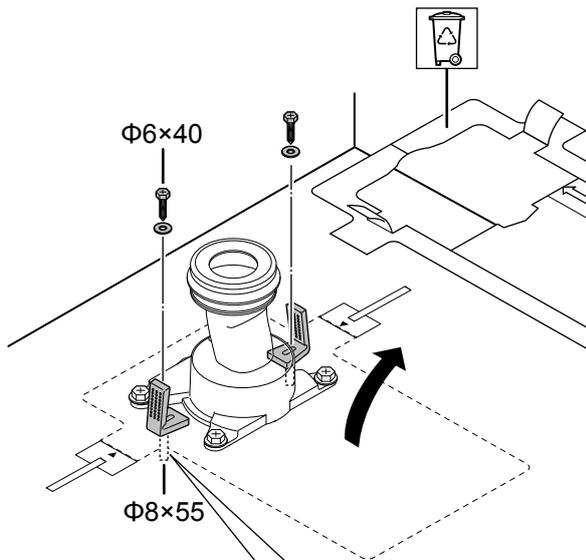


3

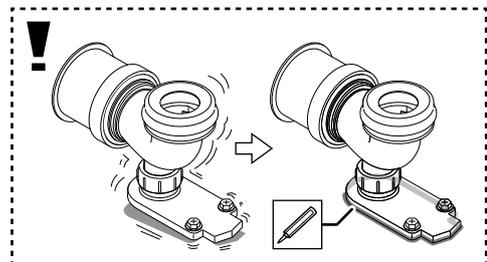
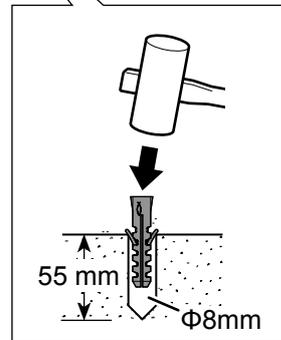
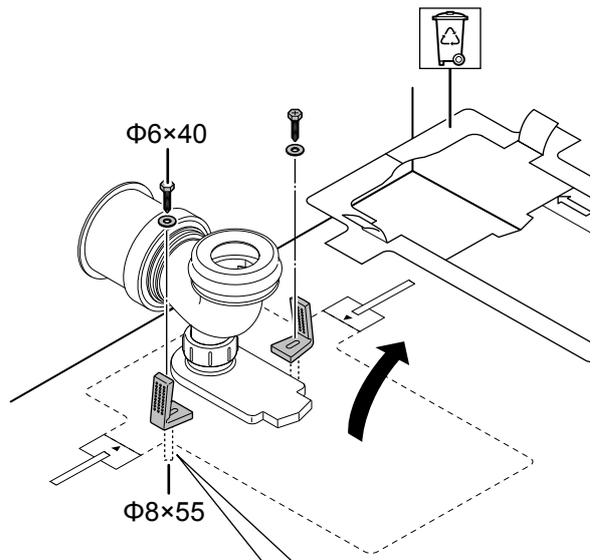


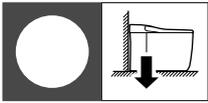


3

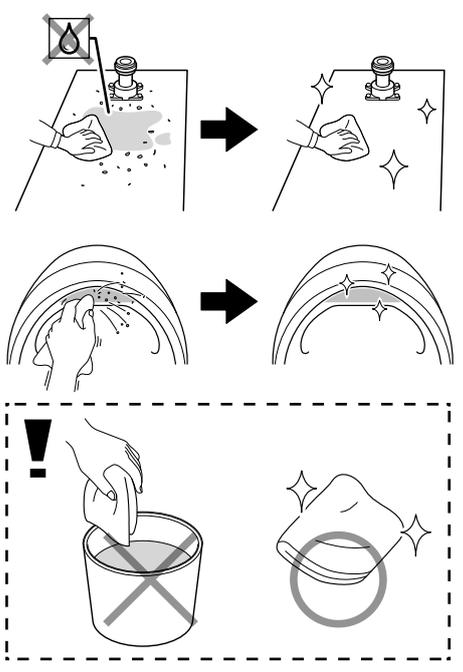


4

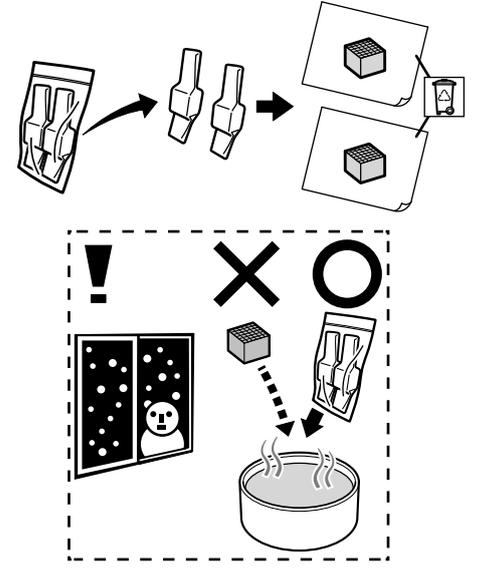




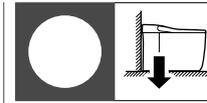
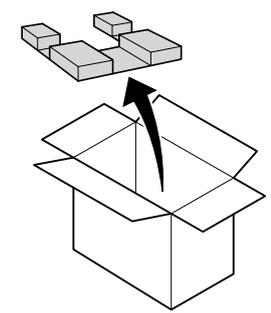
4



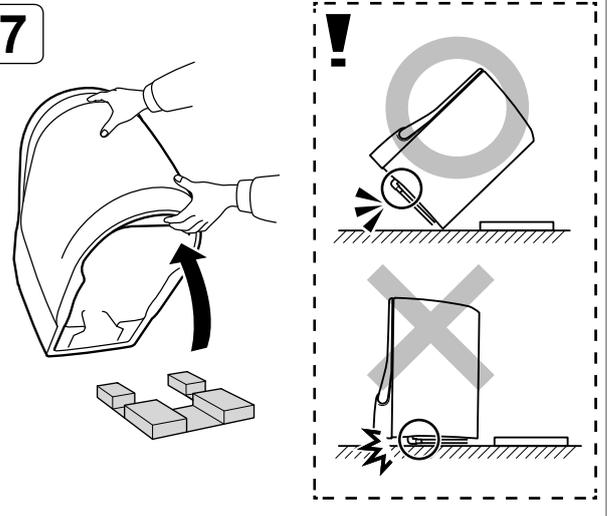
5



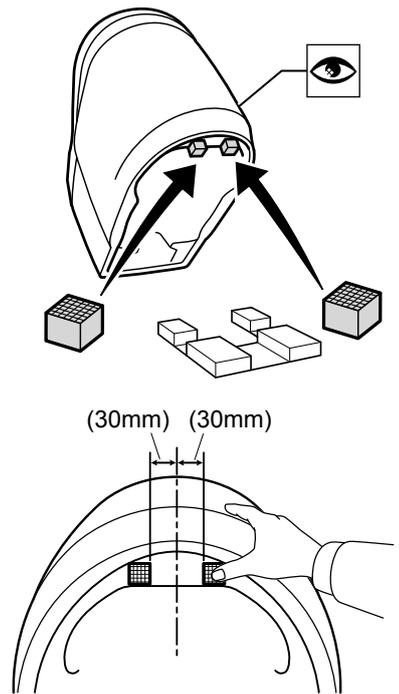
6



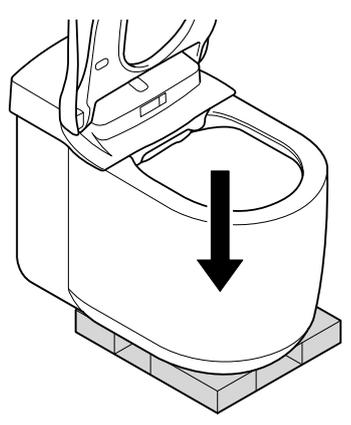
7



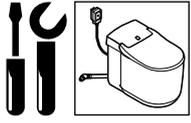
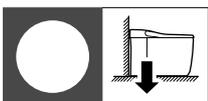
8



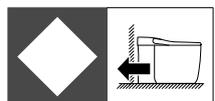
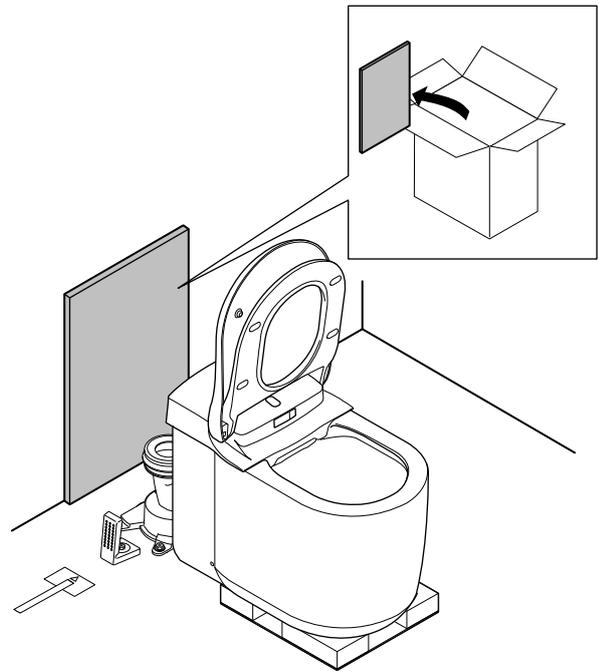
9



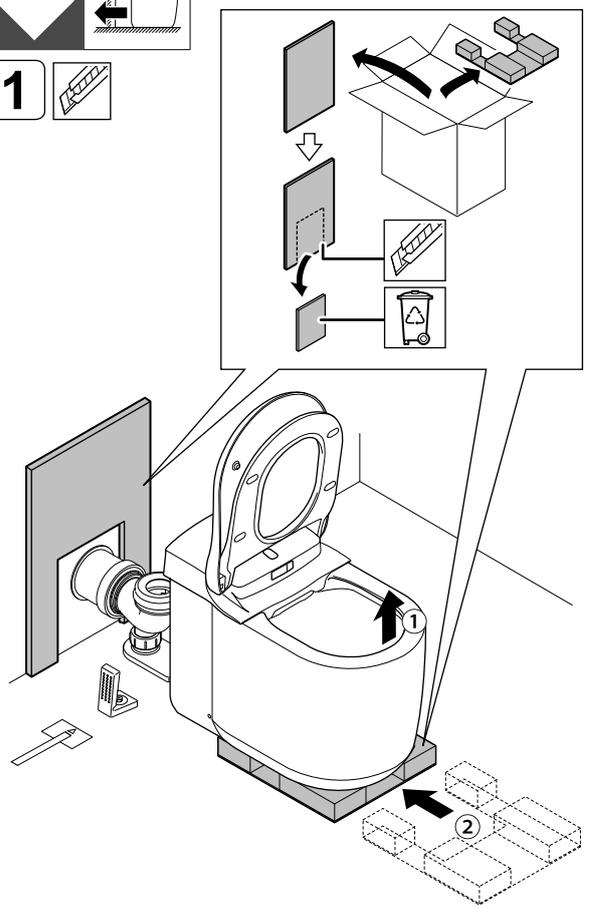
C-4

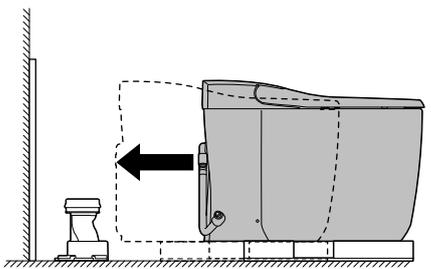
1



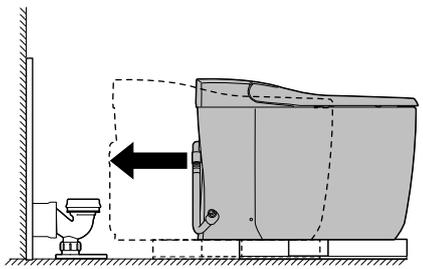
1



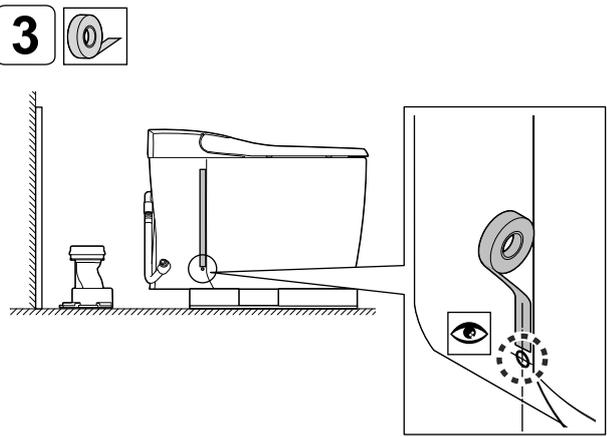
2



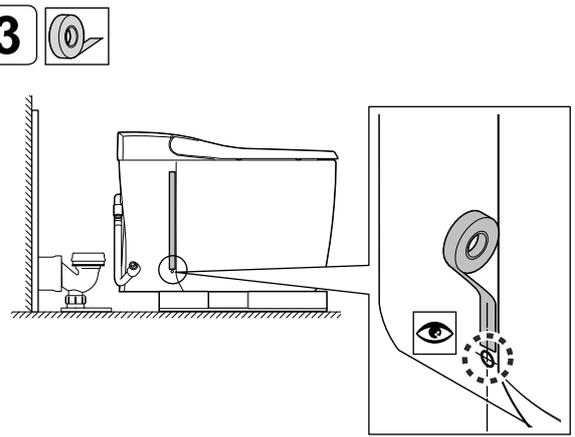
2

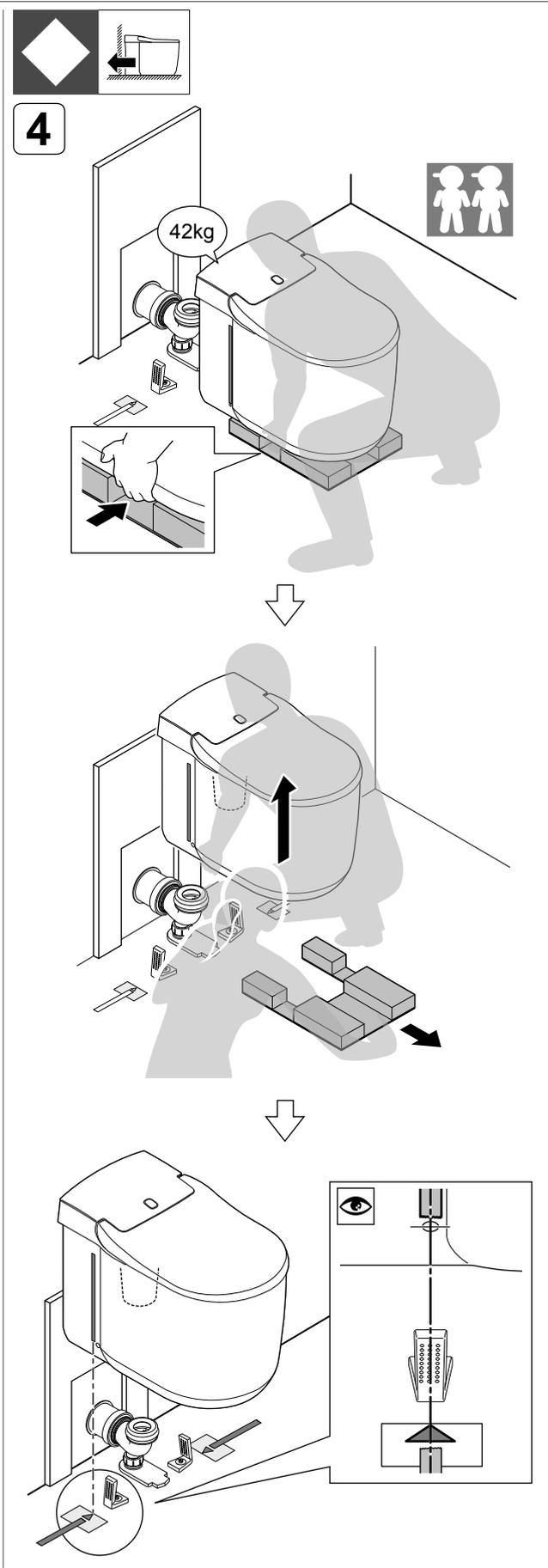
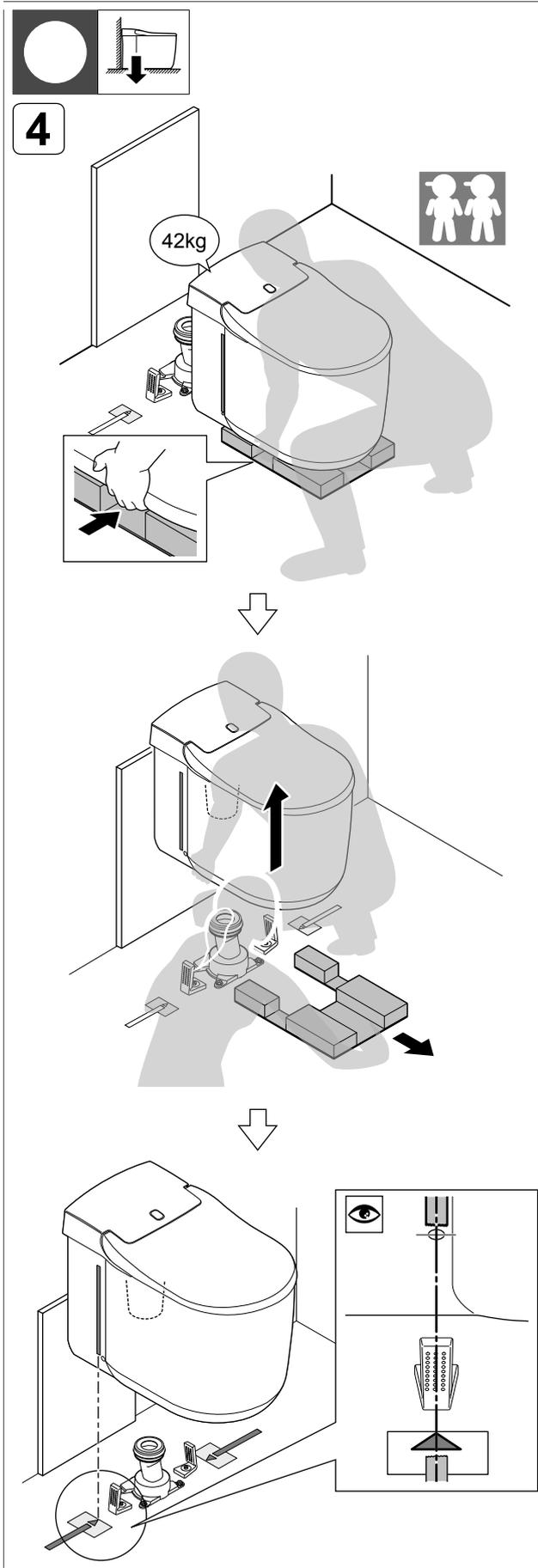


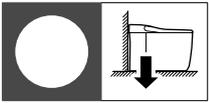
3



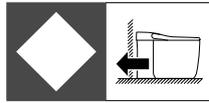
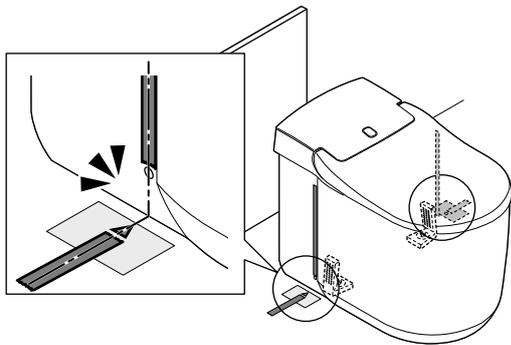
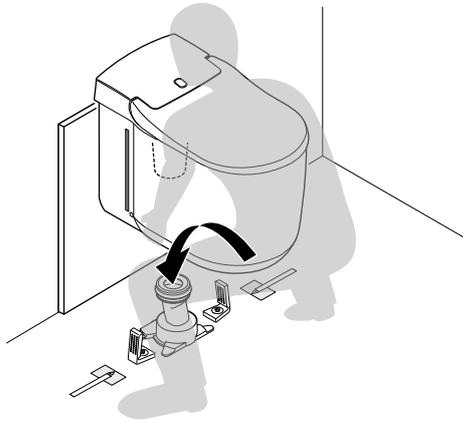
3



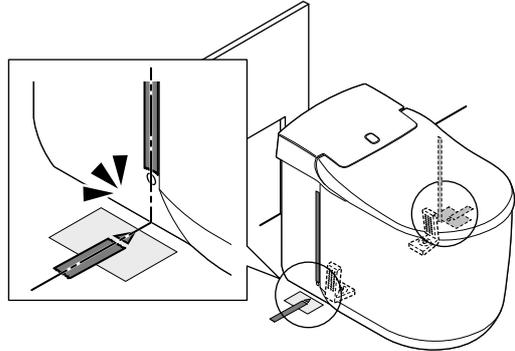
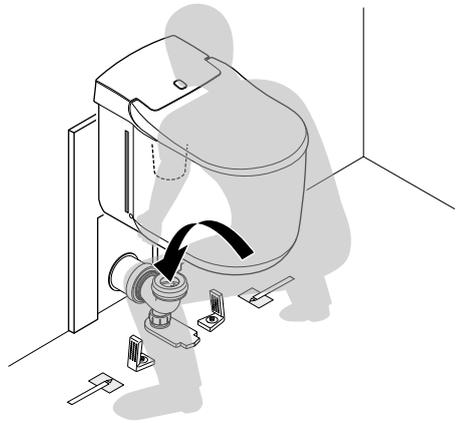




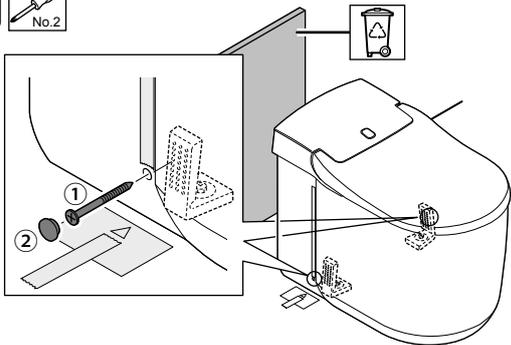
5



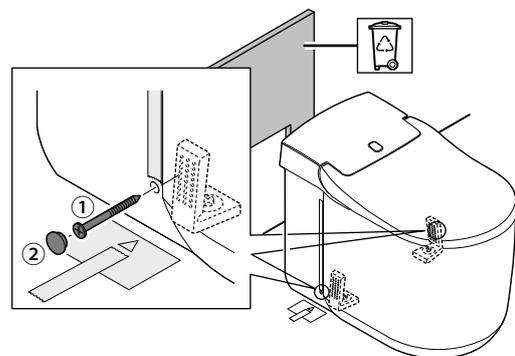
5



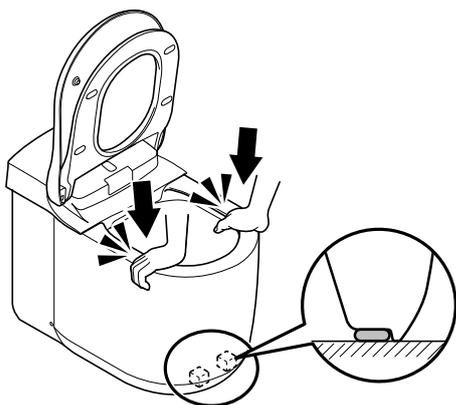
6



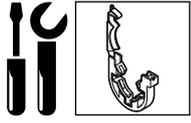
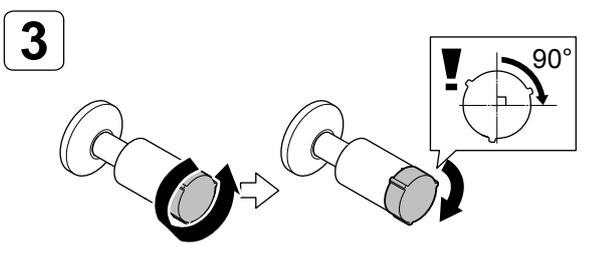
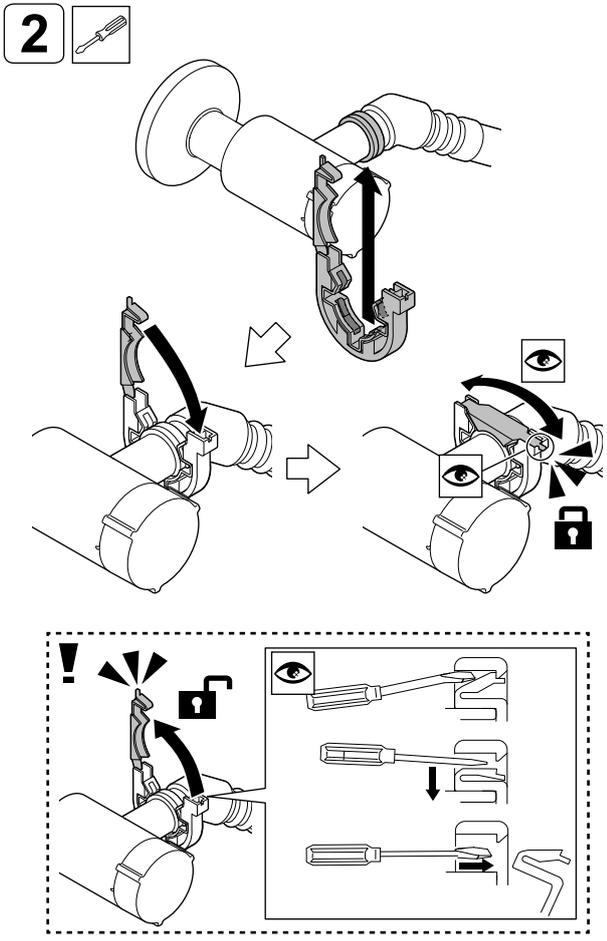
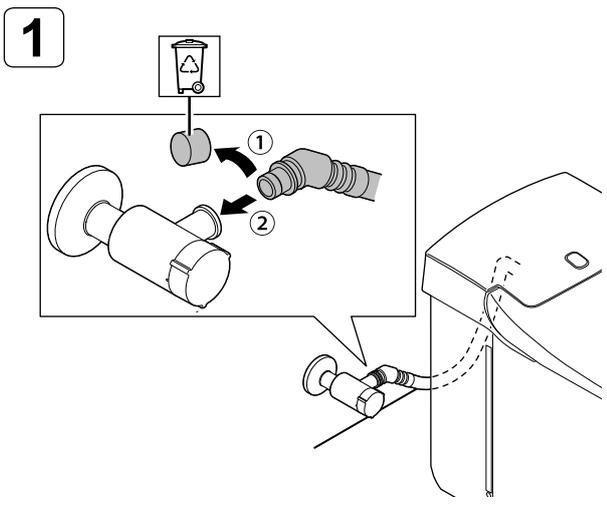
6



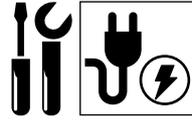
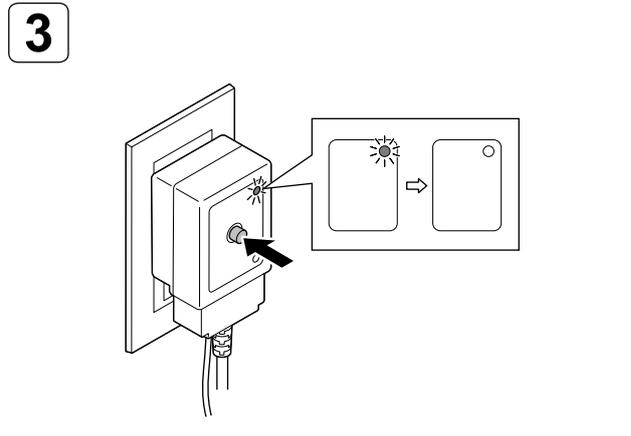
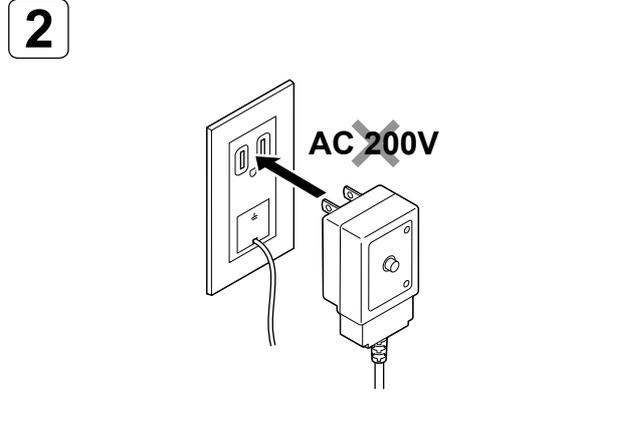
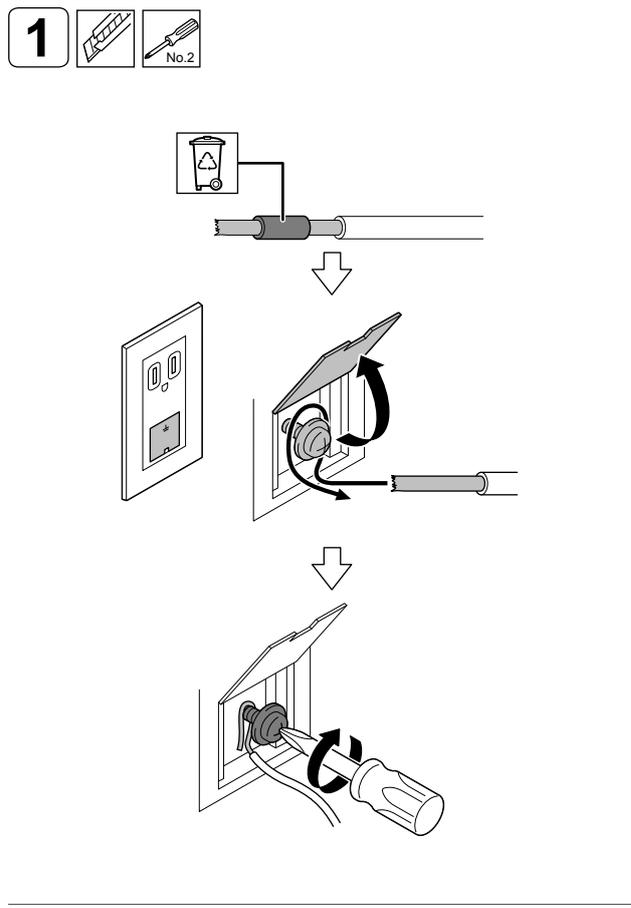
7



C-5

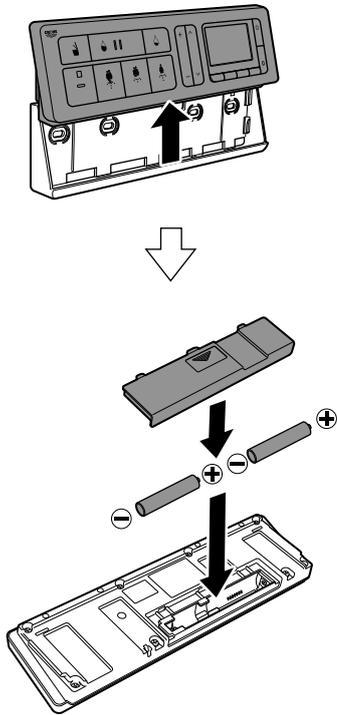
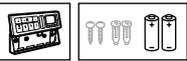
C-6

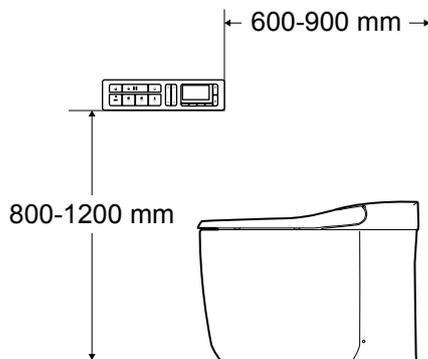
C-7



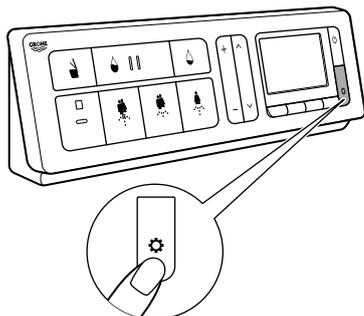
1



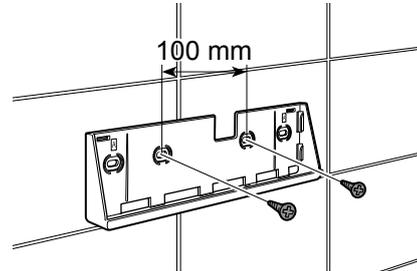
2



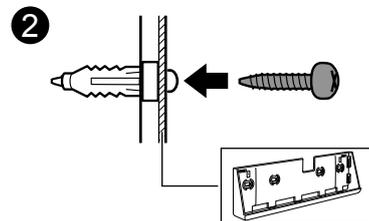
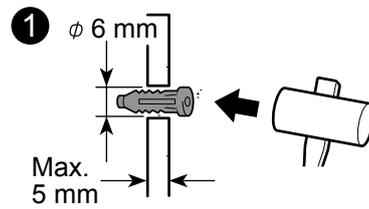
3



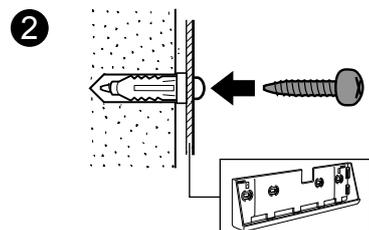
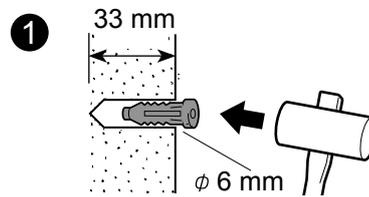
4



A



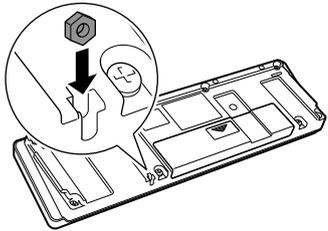
B



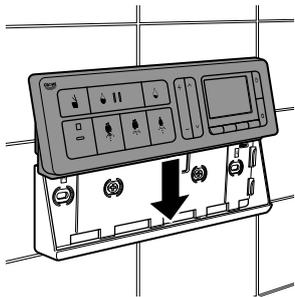
D-1



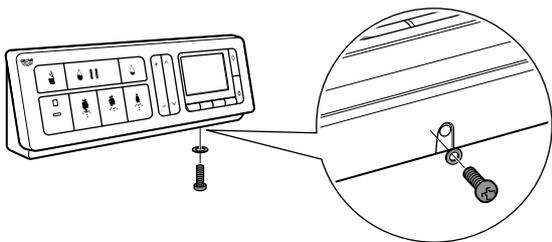
5 



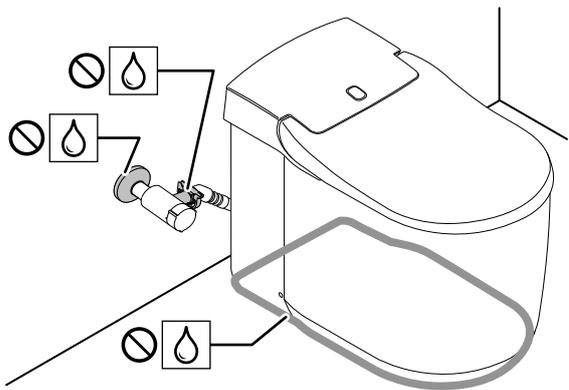
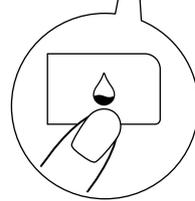
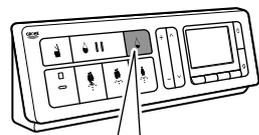
6



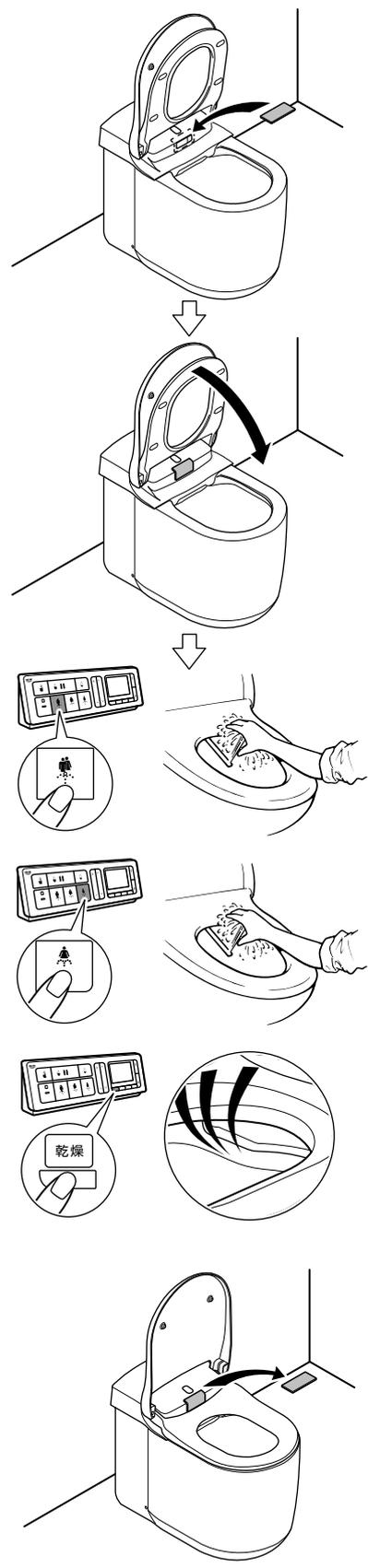
7 



1

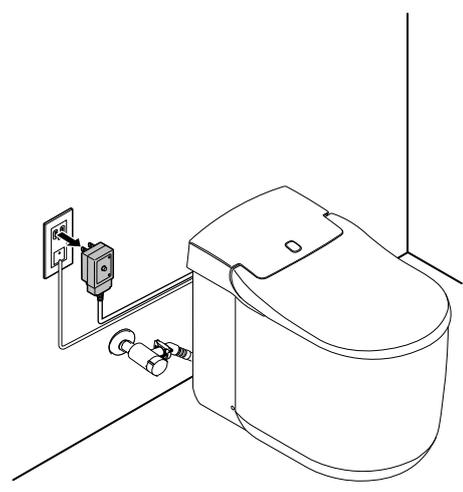


1

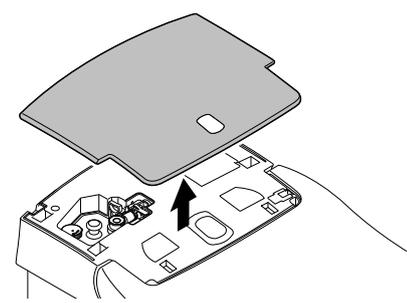


2

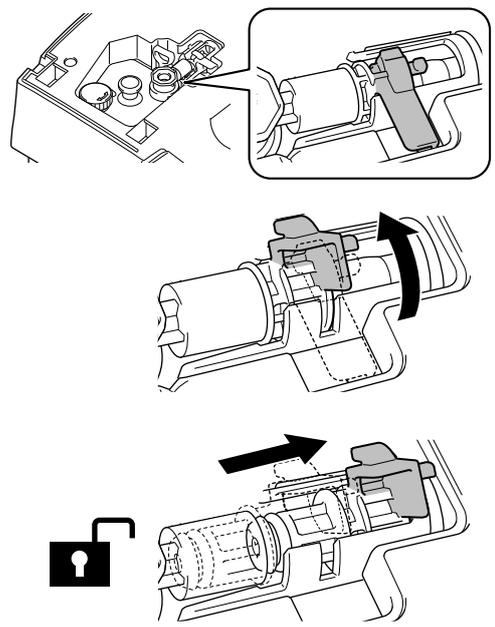
1



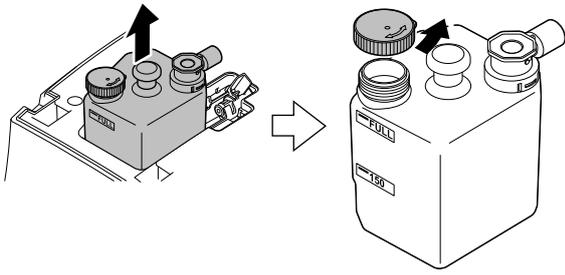
2



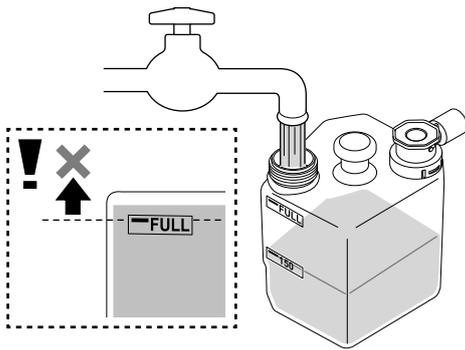
3



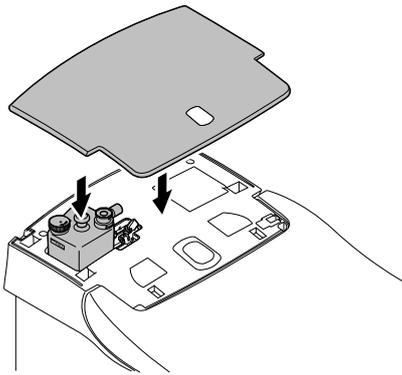
4



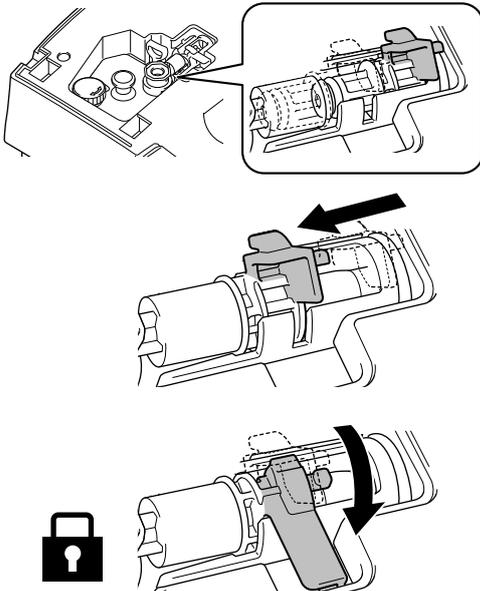
5



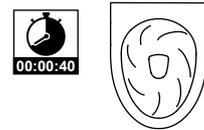
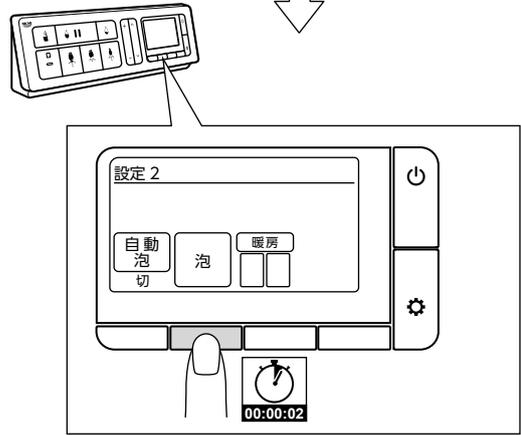
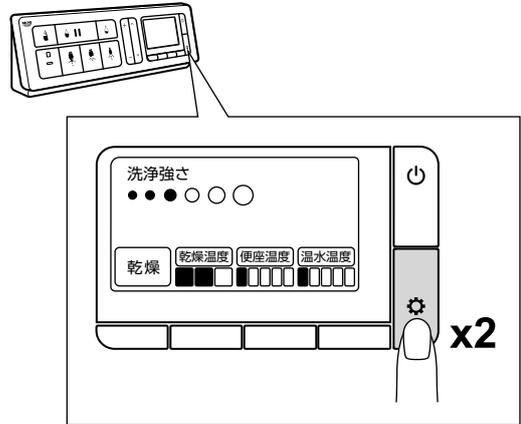
6



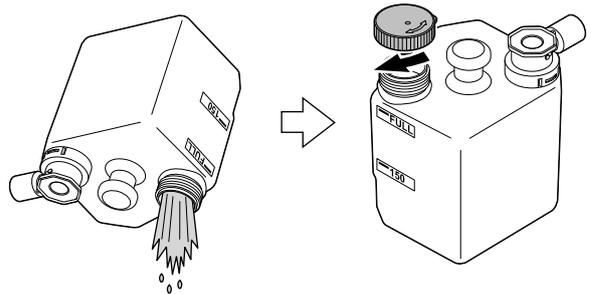
7



3

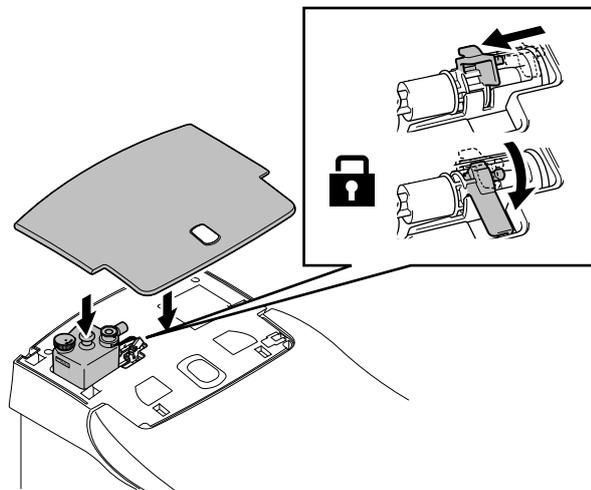


4

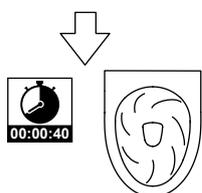
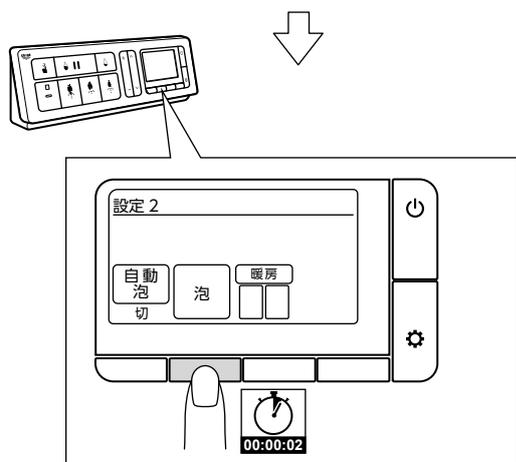
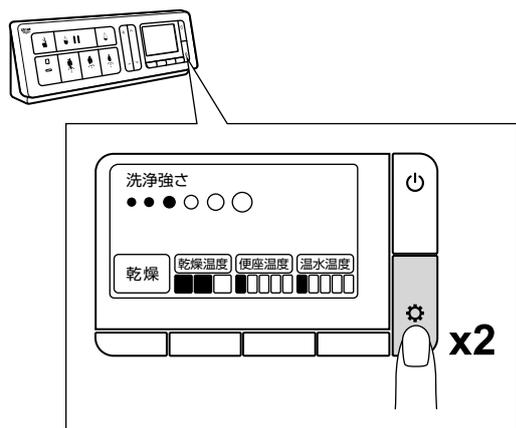




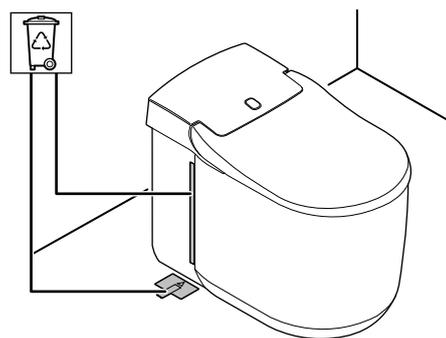
5



6



1



■商品・修理のお問い合わせは グローエジパン サービスセンターへ

 0120-315-968 (受付時間 9:30~17:30/土・日・祝、夏季、冬季休暇を除く)

グローエジパン株式会社

本社

東京都港区北青山 2-11-3 A-PLACE青山 6F

□アフターサービス課

TEL 0570-666-368 FAX 03-5775-7611

営業時間 9:30~17:30

定休日 土・日・祝日

PCW-1374-JP(19060)